

テンメイニュース

第44号 2020年9月3日発行

発行:NGO仙台テンメイ事務局 仙台市青葉区中山6-6-45

TEL&FAX:022-279-1024 E-mail: atowa999@gmail.com HP:http://genkiup.net/



第十四回通常総会

令和2年4月12日に第14回通常総会が開催され、全ての議案が可決承認されました。総会時会員数は124名。総会出席者22名。委任状提出者70名にて総会成立致しました。また、総会後の研修会も好評で、終了後の懇親交流会では、新たな仲間も増え、大いに親睦を深めることができ盛況でした。

本年度の主な事業計画

- 1 組織の充実、会議の開催
- ① 通常総会を年1回、理事会、メンバーミーティングを毎月1回開催する。
- ② テンメイニュースを年2回発行。ホームページの充実を図る。
- 2 安全で生命力の高い農産物の生産、食品加工等の事業
- ① 農業メンバ（農業研修生、ボランティアスタッフ）の増員、育成、拡充を図る。
- ② 農場の農産物及び野草、葉草を無駄なく生かす方法を研究する。それに伴う施設、設備の整備を推進する。
- ③ 名取農場と大和農場のそれぞれの特徴を生かした農法で野菜を栽培する。
- ア、生体エネルギー理論に基いた生態系生体システムプログラム農法の勉強会を開催し、安心安全でエネルギーレベルの高い農産物を提供する。
- イ、ビニールハウスを有効利用し、収量増と定期的及び安定出荷を目指す。さらに栽培技術を整理し纏める。
- ウ、自然の恵みのみで栽培した農産物を提供する。
- ④ 株式会社田伝むし農園と連携して生体システムプログラム農法の米作りに取り組み、会員にエネルギーレベルの高い米を提供する。



総会終了後の懇親交流会の様子

⑤ グリーンガイヤと連携し、水耕栽培の実証実験を継続する。

3 高柳亭及び大和亭の庭等環境の維持管理

庭木及び生垣の剪定並びに庭の草刈り等をう。

4 人間性、精神性を高めるためのセミナー及び健康増進のための活動の開催

① 天命塾セミナーを開催する。人材育成、研修、交流。健康増進のためのセミナー（天命塾ゼミ、あわ歌回等）

② 中山歯科と共催で座禅断食会、健康教室、生体エネルギー勉強会などを開催する。

5 会員相互、地域住民及び目的や志を共有できる仲間との交流活動の開催

都市型交流拠点として、あわの里天命舎、里型交流拠点として高柳亭及び大和亭の活動を充実させる。

6 理念を共有するグリーンガイヤ等の組織と連携を図り活動する

ハウス栽培の研究や大和農場の拡大村づくり構想を検討していく。

研修会参加レポート

今必要なこと

講師代表 大久保 直政

ようやくいい時代が来たと思う。今年はある意味でクライマックスの年。何が自分ができるか、何が自分にとっていいのかわかる（事故）に遭遇する年である。大きく場が変わるいま、自分で変わらなければならない人でも変わらなければならない時代。経済・金融が崩壊するということは何が本当に大切なかを問われる時代である。壊れることを楽しみながら、次に何ができるかを工夫する人が次代に活きる人。大変な時こそ深呼吸（神呼吸）が大切。『大変』は大きく変わるチャンス。各々が転ばぬ先の杖として、次にやるべきことを考えて新たなことにチャレンジして行ってみよう。



テンメイ農場の展望

講師：副代表 大平 仁

幼少期は、家の前は海、裏は山に囲まれたとても自然に恵まれた豊かな環境で過ごした。その時の経験が今のベースになっている。自身を育んだ環境で身につけた感性とNGOグリーンガイヤの目的とする理念とが一致しているところが多く、深く共感することができ現在まで活動できている。

テンメイの農場はある意味で道場でもある。それぞれの会員が農場に関わり、その時々が良いものを取り入れながらより良い場づくりに関わってほしい。様々な方の其々の得意なことを、一品持ち寄りとして、テンメイというこの繋がりの中でリンクさせてみんなで楽しんで輪をつくっていくことで理念達成の夢を実現していきたい。



伝田むしの今後の展望

講師・理事 木村 純

社会人になった時から、いつかは自分で起業したいという思いがあり、様々な会社で様々な経験を積ませて頂いた。平成17年（36歳）の時に無農薬の水稻栽培を営む実家に就農した。無農薬の水稻栽培の一番のハードルは除草作業であるが、現在は、代掻きや除草のタイミングを掴み、クリアすることができています。平成22年に法人化した「田伝むし」という会社名に決定する。一次産業の後継者不足が顕著になっているが、石巻の農漁業のネットワークを活かし、また生体エネルギー技術も大いに活用し地域の活性化を進めていきたい。



僕の天命

講師：会員 鎌田 温

NGO仙台テンメイの方々に関わることで自分自身が成長できていると感じる。4年前までは企業で働いており、企業戦略・体制などを学ぶことができた。その企業の中で取り扱っていた商材の中に生体エネルギー商品があったが、他の商材と比較して、次元が違うレベルで物が良いことが分かった。その企業を退職後、福島県の町おこし協力隊を経験、現在は宮城県の地域おこし協力隊で様々な経験を積むことができている。将来的に、自身で起業することを考えたときに、自身の天命を全うできるように能力の使い方をしたい。そのために生体エネルギー技術を活用し、挑戦することで社会に貢献できるように日々勉強を重ねている。



『イネとヒエ、雑草もたくみに生きている』

会員：山下 嘉子さん

7月4日、石巻にある田伝むしの木村さんの田んぼの草取りです。参加者は20名ほど。5月31日に植えた苗は20センチほどに成長し田んぼにそよいでいました。まずは木村さんから『イネ以外はみんな抜いていいです』とのこと。しかし、私たちの目を巧みに欺くのがヒエ。穂がつく前はイネとヒエを見分けるのは難しく、イネには毛が生えています。ヒエにはないとのこと。それでも初心者にはぼつと見分けがつかず“毛生えイネ”と言いつつながら一つ一つ確かめての作業です。イネに似せながらたくみに生きている雑草の知恵に感心するほど。そんなのんびり草取りができたのも、生体エネルギーの資材を入れた田んぼの心地よさのおかげ。素足で進む田んぼはとても気持ちよく、ずっと浸かっていたいくらい。前回の田植えのあと、足がすべすべしたと言う方もいて、美肌に、健康になりながら農作業ができる環境に感謝です。このコロナ禍の中、田植えと草取りは外でのびのびと土に触れることができる貴重な機会。こういう時に本当に必要なものは、暮らしを支える食物や心身のバランスを整える土なのだと思ひました。(今はイネの花が咲く時期でしょうか。ほんの数時間しか咲かないと言う可憐なイネの花を一度見てみたいと思います。)

今年、長雨の日照不足と低温が心配でしたが、7月末からの暑さで成長は順調とのこと。なんとも楽しみな木村さん自慢のササニシキ。今度、一番おいしい食べ方を教えてもらおう。



感謝感謝!の『暑気払い』

会員：小島 暁子さん

8月9日(日)の暑気払い当日、雨のため、農作業は限られた内容になりました。私はトマトの芽かきを行いました。ハウスのトマトはジャングルのように、目を探るのが結構大変でしたが、勢いのいい野菜たちに囲まれていると、不思議と元気になる感じがしました。その後、他の方によって収穫されたニラを洗ったのですが、根元にアブラムシが付いているものは3度洗いしました。虫も、テンメイ野菜の滋養の高さがわかっているんですね。しゃがんだままの姿勢が続いたので、翌日は背中が筋肉痛になってしまいました(笑)。同時に、ありがたさを感じずにはいられませんでした。テンメイ農場で獲られた野菜が、参加者の皆さんの手によって、サラダ、和え物、揚げ物、炒め物などに姿を変え、彩りよく食卓に並びました。皆さんの手際の良さには感動いたしました。今回は、手打ち蕎麦も加わり、どの料理もほっぺたが落ちるほど美味しくいただきました。最高の野菜を最高のメンバーで調理し、共に食事をするという、このすてきなイベントを企画してくださった方、事前に準備をしてくださった方、そして共に楽しい時間を過ごさせていただいた皆さんに、感謝申し上げます。

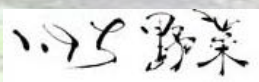


事務局より

- ・NGO仙台テンメイに入会を希望される方へ
入会申込書にご記入頂きFAX送信のうえ、お振込をお願いします。
- ・いのち野菜定期購入をご希望の方へ
申込用紙にご記入頂きFAX送信をお願いします。

- ・入会金 5000円(初年度のみ)
- ・年会費 3000円
- ・寄付金 1口:1000円
(いつでも何口でも歓迎です)

【申込書FAX送信先】
022-279-1024
【郵便振替口座】
名義人 仙台テンメイ
記号番号
02210・0・69799



編集後記

本号の発行にあたり、ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。長い梅雨からの暑すぎる夏が終わりに近づき、朝晩の風は涼しさを増しており、季節は一刻も休まず移ろい続けるのだなあとしみじみと感じております。『変化し続けることが安定することである』という宇宙の真理も、なんとなくですが季節の移ろいから教えてもらった気がします。世の中は、色々大変な時期ですが、庶民一人一人が横に手をつなぎ合えば大丈夫！と信じて軽やかに過ごしていこうと考えております。皆様も良い秋をお過ごしください。

西野